

阪神・淡路大震災から25年

阪神・淡路大震災から25年が経過します。

地震保険では783億円の保険金をお支払いしましたが、当時の地震保険の普及状況は、世帯加入率が地震保険制度創設以来の最低水準である全国平均7.0%となっており、さらに兵庫県の世帯加入率は全国平均を大きく下回る2.9%という状況でした。

現在の兵庫県の世帯加入率は29.4%になりましたが、全国平均32.2%を下回る状況が続いています。

付帯率につきましても兵庫県は61.9%と全国平均65.2%を下回る状況です。

また、兵庫県内の地方別でみた付帯率では、全国平均を上回るのは淡路市、南あわじ市、芦屋市、伊丹市をはじめ9市、一方、神戸市や西宮市などでは全国平均を下回る状況です。

私たちは過去の地震災害を振り返り、その教訓を踏まえ、地震・噴火・津波の備えとしての地震保険の重要性をお伝えしてまいります。

1. 阪神・淡路大震災の概要

1995年1月17日午前5時46分、淡路島北部を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、神戸市や淡路島の一部地域では震度7に相当する揺れとなりました。

大都市を襲った直下型地震により、死者・行方不明者は6,437人、負傷者は4万人を超える大災害となりました。

気象庁はこの地震を「平成7年（1995年）兵庫県南部地震」と命名し、政府はこの災害を「阪神・淡路大震災」とすることを閣議了解しました。



[神戸市長田区被災状況]



[神戸市灘区被災状況]

(写真提供：神戸市)

2. 阪神・淡路大震災での地震保険再保険金支払い状況

2019年3月末現在

地震名	地震発生日	地震規模	再保険金	
			証券件数	支払再保険金
平成7年（1995年）兵庫県南部地震	1995年1月17日	M7.3	65,427件	783億円

・支払再保険金783億円のうち、政府は61億円、当社を含む民間損害保険会社は721億円を負担しました。

3. 現在の地震保険の契約状況

(1) 地震保険の世帯加入率

全国平均	兵庫県
32.2%	29.4%

(2) 地震保険の付帯率

全国平均	兵庫県
65.2%	61.9%

(参考) 東日本大震災、熊本地震の被災地での現在の世帯加入率、付帯率

[世帯加入率]

宮城県	熊本県
52.1%	40.3%

[付帯率]

宮城県	熊本県
86.8%	80.0%

(3) 兵庫県内の地震保険付帯率（上位 20 位）

順位	地方別	付帯率
1	淡路市	68.8%
2	南あわじ市	68.0%
3	芦屋市	67.2%
3	伊丹市	67.2%
5	宝塚市	66.7%
6	尼崎市	66.0%
6	洲本市	66.0%
8	川西市	65.9%
9	明石市	65.5%
10	西宮市	64.0%
11	三田市	63.7%
12	三木市	62.1%
13	神戸市	61.9%
14	加古川市	61.2%
15	高砂市	59.7%
16	豊岡市	58.3%
17	宍粟市	58.2%
18	郡部	57.7%
19	小野市	57.3%
20	加西市	56.8%

- ・上記は損害保険料率算出機構ウェブサイト <https://www.giroj.or.jp/> の公表データに基づく数値です。
- ・世帯加入率は 2018 年 12 月末保有契約件数を 2019 年 1 月 1 日時点の住民基本台帳に基づく世帯数で除した数値です。
- ・付帯率は 2018 年度に契約された火災保険（住宅物件）契約件数のうち、地震保険を付帯している件数の割合です
- ・上記(3)の兵庫県内の地震保険付帯率（上位 20 位）は、損害保険料率算出機構公表の「地震保険 地方（市・区等）別付帯率」をもとに日本地震再保険で作成しました。

以上